



伊深っ子

伊深小 学校だより R4,4,7

FROM-0 歳プラン2推進校

『明るく笑顔あふれる伊深っ子』

学び合う 思いやる やりぬく

明るく笑顔あふれる伊深っ子をめざして

～ 小さな小さなつみかさねが明日を創り出す ～

桜の花びらが、大洞川の水面に浮き、帯のように漂う様子は綺麗なのですが、どこか哀愁を感じてしまいます。花びらが水に流される様子は、花筏（はないかだ）と呼ばれ古来から親しまれていました。花筏ということばは、春の季語であるものの単に春を表すことばではなく、「終わりが来ることの暗示」を意味しています。



私は、この意味深さから、令和3年度末に巣立っていった子どもたちや令和4年度の始まりを想像しました。どの世界においても、終わりがあれば始まりがあり、これらの繰り返しの通して成長が促されます。

令和4年度を迎える今日、「決意と理想」を抱きました。今年度の理想とする学校像は

○ 温かい学校

○ からだ・あたま・こころを鍛える学校

です。温かい学校とは、一人一人が笑顔あふれ、一人一人が輝く学校のことを言います。

4月1日の午後、5年生の男の子と出会いました。その男の子は、異動したばかりの私の顔を見て「この人は誰だろう？」と不思議な目で見っていました。しかし、新しく異動してこられた先生かもしれないという発想が、でるやいなや、にこやかな笑顔と挨拶を何度も繰り返し、私を歓迎してくれたかのような様子でした。あどけないこの児童の存在に伊深小学校の子どもたちの温かさや本校の宝物である「笑顔であいさつ」を感じました。2つ目の「からだ・あたま・こころを鍛える学校」とは、小学校の時代にしかできない体幹を整える活動を意図的に仕組み、学びに向かうためのからだづくりを推進していきたいと考えています。

この4月、初々しい15名が伝統ある本校への仲間入りをしました。また、新しく5名の職員が転入し、新風を吹かせます。これまでに本校が取り組んできた

① ICT・少人数教育

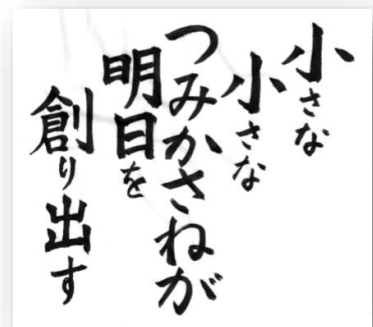
② ふるさと教育

③ 防災教育

を基盤に、22名の職員とともに、子どもたちや保護者の方々、地域の方々の笑顔があふれるよう、精一杯努力する所存です。

「小さな小さなつみかさねが明日を創り出す！」

この言葉を胸に、「令和4年伊深小学校物語」が始まります。保護者の皆様、地域の皆様、本年度も温かい支援をどうぞよろしくお願いいたします。



伊深小学校 校長 宮西 祐治